2006年3月期中間決算説明

2005年12月

株式会社 シーティーエス

中間決算概要

中間決算損益概要

（単位：百万円）	04/9	05/9	増減額	増減率
売上高	1,362	1,458	96	7.1%
売上総利益	490	549	58	12.0%
営業利益	36	108	71	199.1%
経常利益	33	110	76	228.2%
中間純利益(△純損失)	△11	62	―	―
1株当たり 中間純利益(△純損失)(円)	△2,163.11	11,605.61	―	―
中間従業員数(名)	113	108	△5	△4.4%

特　筆　事　項

➢売上高の増加

レンタル事業　　前年同期比　＋62百万円
ソフトウェア事業　　〃　　＋21百万円

➢営業利益の増加

レンタル事業、ソフトウェア事業の売上総利益の向上によります。

➢中間純利益の改善

前年同期(04/9)は、事業所の統廃合により遊休となった事業用設備を売却したこと
などにより、総額47百万円の特別損失を計上したため、中間純損失となっております。

セグメント別損益概要

（単位：百万円）		04/9	05/9	増減額	増減率
レンタル事業	売上高	518	581	62	12.1%
	営業利益	5	58	52	874.2%
ソフトウェア事業	売上高	291	312	21	7.3%
	営業利益	△21	5	26	―
工事・安全用品販売事業	売上高	318	319	0	0.3%
	営業利益	20	9	△10	△52.0%
測量機器等販売事業	売上高	233	244	11	4.9%
	営業利益	31	34	3	11.0%
合計	売上高	1,362	1,458	96	7.1%
	営業利益	36	108	71	199.1%

特　筆　事　項

- レンタル事業の売上高、営業利益が前年同期を大きく上回る

  災害復旧工事が発注されたことに伴い、工事現場事務所向けユニットハウス等のレンタルの需要が増加したためです。

- ソフトウェア事業の営業利益が、半期ベースで、初めて黒字に転換

貸借対照表概要

（単位：百万円）

資産の部	05/3	05/9	増減額	増減率
流動資産	1,159	1,244	85	7.3%
固定資産	1,448	1,416	△31	△2.2%
資産合計	2,607	2,661	53	2.1%

負債・資本の部	05/3	05/9	増減額	増減率
流動負債	640	674	33	5.3%
固定負債	237	227	△9	△4.0%
負債合計	877	901	24	2.7%
資本合計	1,729	1,759	29	1.7%
負債・資本合計	2,607	2,661	53	2.1%

キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）	04/9	05/3	05/9
営業活動によるキャッシュ・フロー	30	162	141
投資活動によるキャッシュ・フロー	166	149	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88	△242	△70
現金及び現金同等物の増加額	108	69	57
現金及び現金同等物の期首残高	370	370	440
現金及び現金同等物の期末残高	478	440	497

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動により得られた資金は141,444千円（前年同期比365.5％増）となりました。これは主に、税引前中間純利益110,205千円、資金支出を伴わない費用である減価償却費54,056千円を加味した資金の獲得に対して、法人税等の支払8,020千円が充当されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動により使用した資金は13,888千円（前年同期は166,557千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得9,748千円、無形固定資産の取得6,863千円によるものであります。

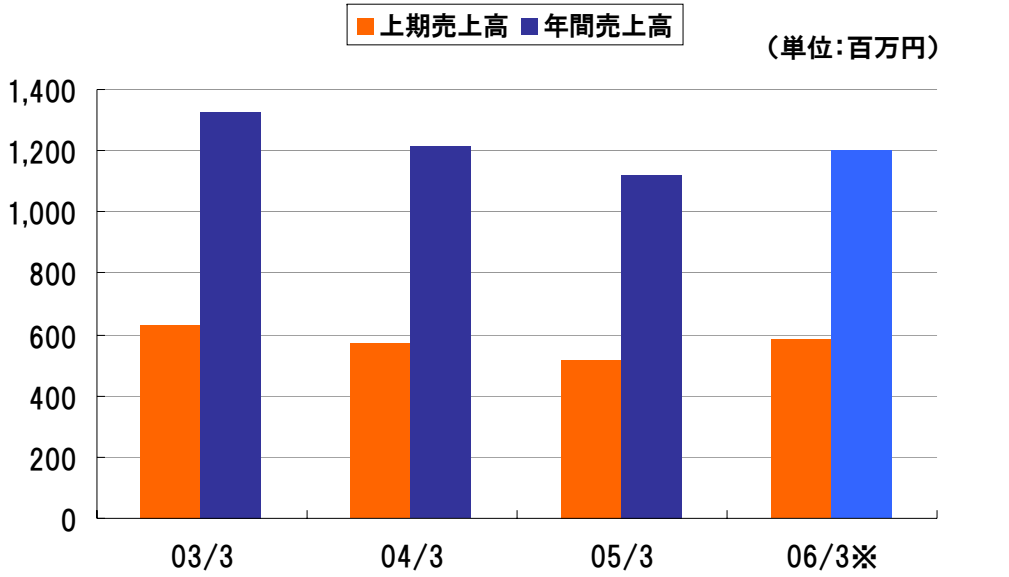
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動により使用した資金は70,265千円（前年同期比20.7％減）となりました。これは主に、長期借入金の返済32,910千円と配当金の支払36,809千円によるものであります。

セグメント別実績および
今後の事業展開

レンタル事業

上期の結果

・災害復旧工事が多数発注されたことに伴い、工事現場事務所向けユニットハウス等のレンタル需要が旺盛に推移し、前年同期を上回る結果となりました。



事業展開

商品戦略

➢電子納品等のニーズに対応した関連サービスを強化

・工事現場事務所へのデジタルカラー複合機、インクジェットプロッタ等の積極投入
・ネットワーク構築
・保守サービス　　など

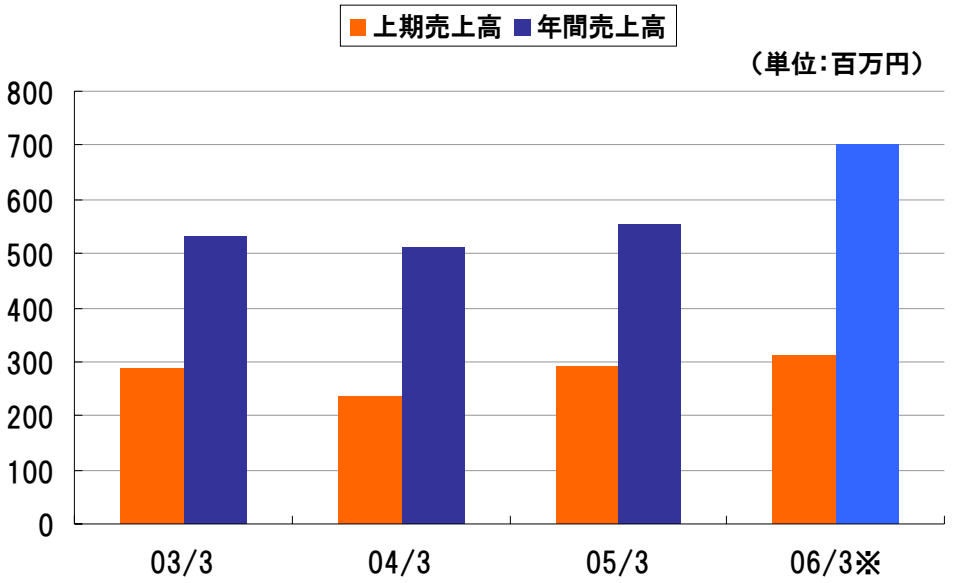
建設業者の現状に沿った、情報化・IT化をトータルサポート

ソフトウェア事業

上期の結果

・アプリケーションソフトや保守・サポート等ネットワーク関連の下支えにより、前年同期を上回る結果となりました。

・建設業経営基幹システムについて
導入支援コンサルティング機能の強化、テレマーケティングの推進、ビジネスパートナー店の連携強化等を進めてまいりましたが、未だ顕著な実績を計上するに至っておりません。



※06/3の年間売上高は予想値

事業展開

販路戦略

➢建設業経営基幹システムの契約ユーザー数拡大に向け、累積型サービス（ASP・ホスティング）を中心に、顧客の獲得に注力する

実施施策

➢従来の販売チャネルによる販促活動の一層の強化

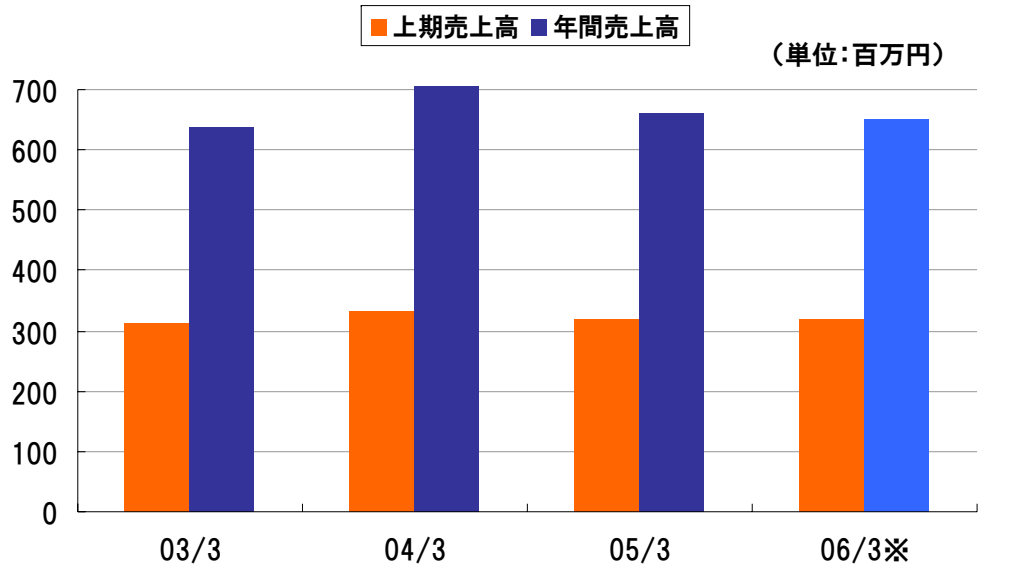
➢地域建設事業協同組合との協業による販売展開の推進

【販売チャネル】
・自社営業社員による直販
・他アプリケーションメーカーとの連携
・地域金融機関との連携
・会計事務所との連携
・地域建設事業協同組合との協業

工事･安全用品販売事業

上期の結果

・環境・景観分野に関する提案営業を強化しましたが、土木・建設業界の設備投資意欲の減退傾向の影響を受け、売上高は前年同期並みとなりました。



※06/3の年間売上高は予想値

事業展開

商品戦略

➢間伐材関連商品・木製防護柵等のエコ商品を中心に、提案営業による官庁・民間市場開拓を推進

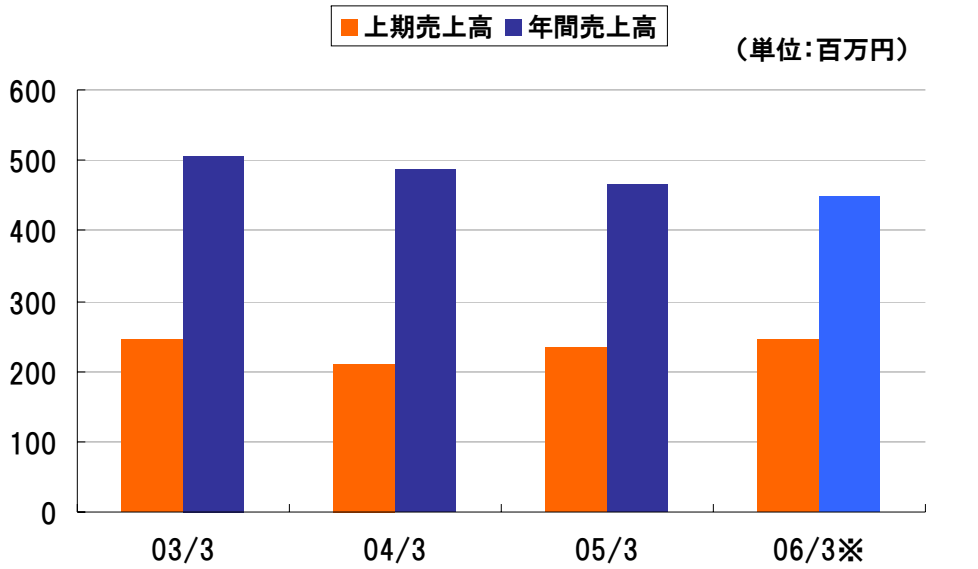
利益率の改善

➢業務効率の改善を推進し、原価の低減を徹底

測量機器等販売事業

上期の結果

・測量機器の営業活動の強化や、ウェブ上で運営している中古測量機マーケット「ジオネットジャパン」サイトのサービス強化による受注拡大を進め、前年同期を上回る結果となりました。



※06/3の年間売上高は予想値

事業展開

販売戦略

➢直販４県下における新市場（土地家屋調査士：1500社）開発の推進

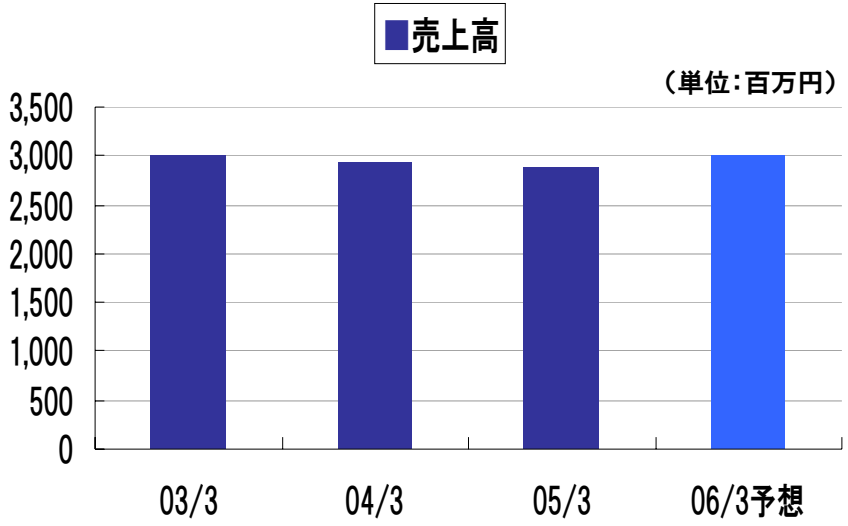
➢ジオネットジャパン（GNJ）をさらに充実させ、全国展開を推進

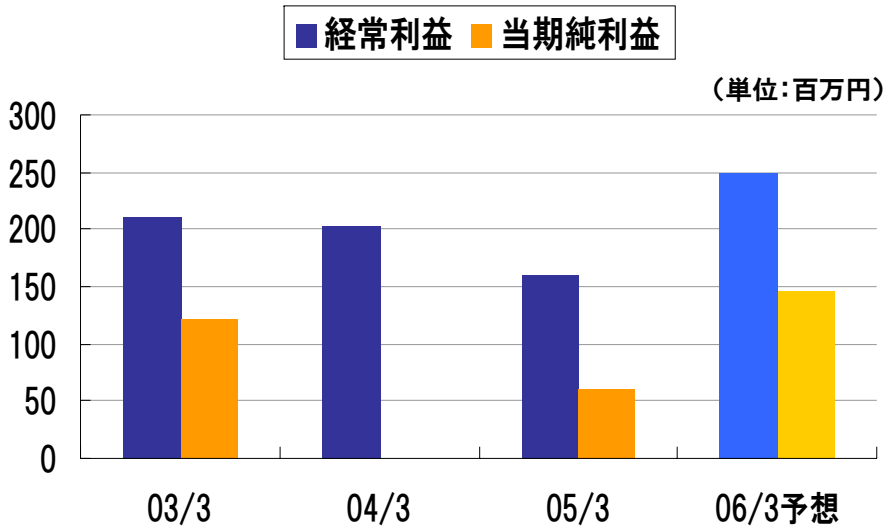
・中古測量機器市場の運営（現在活動中）
・ネット通販事業の開始　（第４四半期より本格参入）
・修理・保守事業の開始　（　　〃　　）

2006年3月期業績予想

（単位：百万円）	03/3	04/3	05/3	06/3予想	増減額	増減率
売上高	3,005	2,925	2,876	3,000	124	4.3%
経常利益	210	202	160	250	90	56.3%
当期純利益	122	0	61	146	85	139.3%
1株当たり配当金(円)	8,000	8,000	6,900	3,700※	△3,200	△46.4%

※06/3予想の配当金は、株式分割後の金額（平成18年2月11日に1：3の株式分割を実施します。）





本資料における注記事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、戦略、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた判断に基づいております。経済、競合状況にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合があります。

この資料に記載されている当社の過年度の業績数値は、単体ベースの数値を記載しております。（2002年10月に子会社の株式会社ジオネットジャパンおよび株式会社ラインサービスを吸収合併しております。）

投資家情報のほか、会社概要、製品情報やニュースなど、シーティーエスに関する様々な情報がご覧いただけます。

http://www.cts-h.co.jp